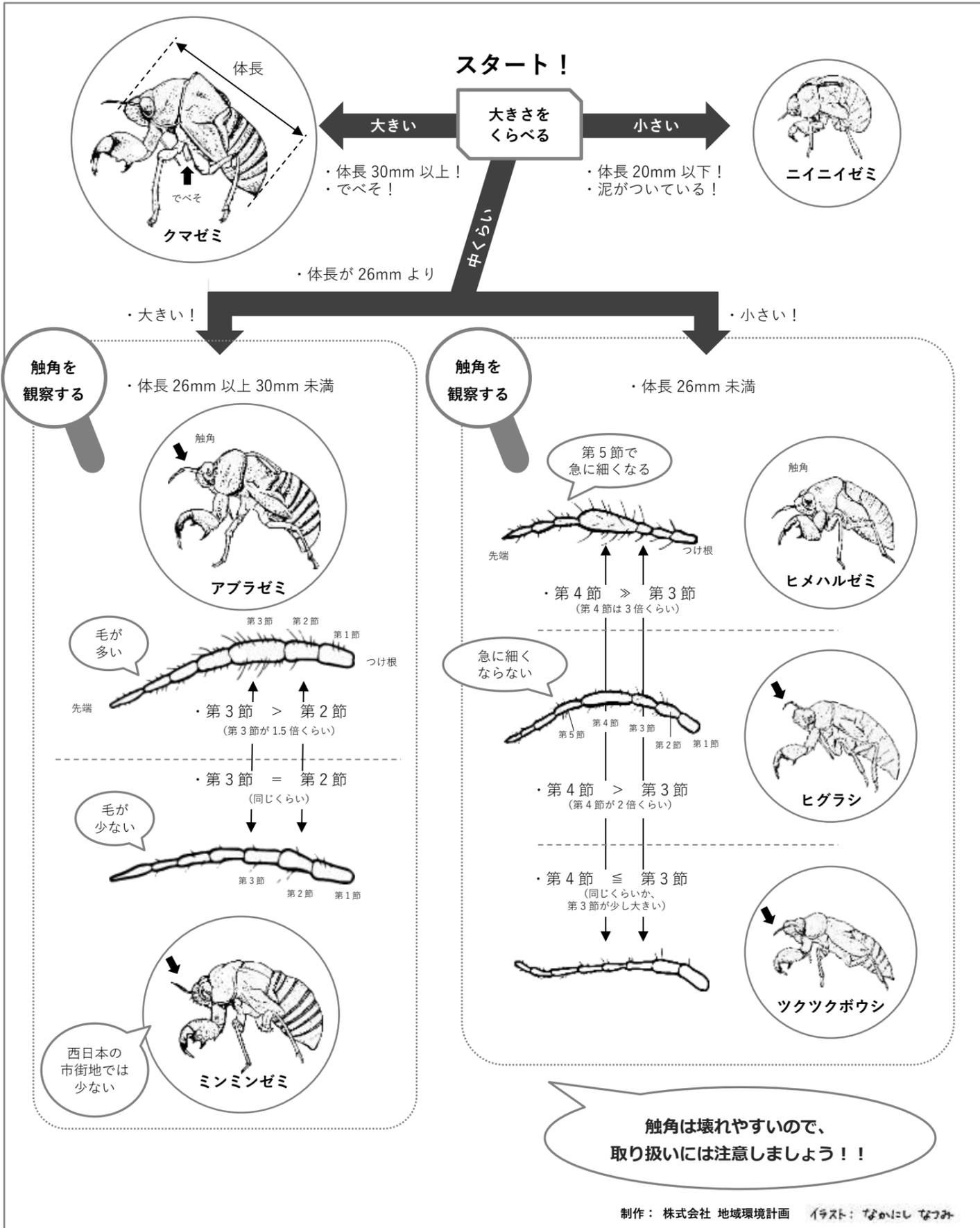


夏にみられるセミのぬけがらの見分け方

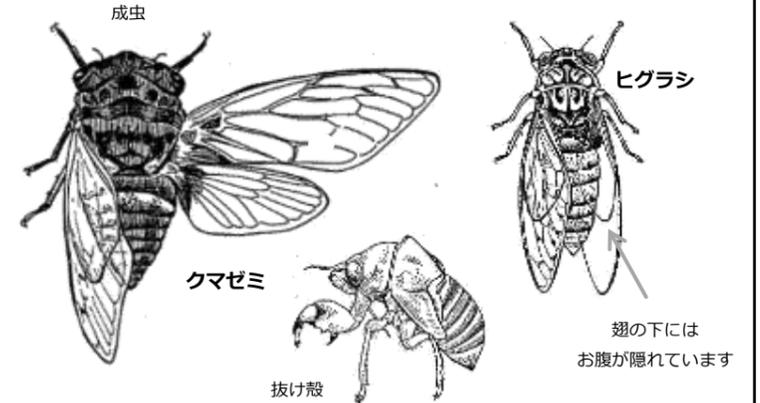


熊本市 市民参加型セミ調査

調査対象について

生態・特徴

セミの鳴き声を聞いたことのない人はいないでしょう。
 鳴くことができるのはオスのセミだけで、成虫は1ヶ月程度生きると考えられています。幼虫は土の中で何年も木の汁を吸って暮らしています。実はとっても長生きする昆虫なのです。



わかること

セミ類は代表的な森林性昆虫であり、都市化が進んで森林が少なくなったり、孤立した林になったりすると、種類構成が変化することから、都市化の進んでいる場所や樹林が残されている場所などについての指標となります。セミ類の種類や分布状況の変化から、熊本市における都市化の進んでいる場所や比較的樹林の多い場所などの分布や環境の変化を評価することができます。

セミの生息環境



調査手法

- 【調査時期】主に夏季（7～9月頃）
 【記録項目】①見つけた場所と環境（公園・学校・街路樹・庭・河川敷・樹林など）
 ②見つけた日時・種類・方法（鳴き声・抜け殻・成虫など）
 ③調査者の情報

1. セミのいそうな場所を探しましょう！
2. セミを確認したら、調査票に記入しましょう！
3. 記録（データ）を報告して、みんなでセミマップを作ろう！
 ⇒調査票を熊本市環境政策課までお送りください！

まずは家の回りで注意深く聞いてみましょう。慣れてきたら、神社など樹林の多い場所で探してみよう！

★種類がわからない場合は、写真や抜け殻、鳴き声の音声などを送ってください。名前を調べるお手伝いをします。

【調査票の送付先】熊本市 環境局 環境推進部 環境政策課

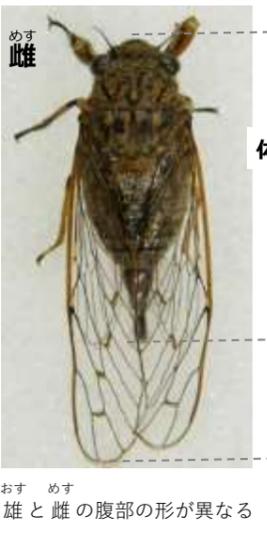
持参又は郵送する場合 → 住所：〒860-8601 熊本市中央区手取本町 1-1 (市役所本庁 7 階)

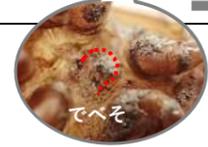
FAX で送付する場合 → FAX：096-359-9945

E-mail で送付する場合 → kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

※わからないことがありましたら、お問い合わせください。TEL：096-328-2427

よく見られるセミの特徴

種名	クマゼミ	アブラゼミ	ニイニゼミ	ツクツクボウシ	ヒグラシ	ミンミンゼミ	ヒメハルゼミ	ハルゼミ
鳴き方	シャー シャー シャー シャー…	ジー ジリ ジリ ジリ ジリ ジリ…	ツイィ〜〜 〜〜〜〜〜…	オ〜シツクツク オ〜シツクツク…	カナ カナ カナ カナ カナ カナ…	ミーン ミーン ミン ミン ミン…	ヴィ〜ン ヴィ〜ン ヴィ〜ン…	トゥルルルル〜 ムウゼ〜ムウゼ〜 ムウゼ〜…
特徴	この中では 一番大きい 。成虫のはねは透明で縁が緑色。抜け殻に でべそ がある。主に午前中に鳴く。	成虫の はねが茶色 でわかりやすい。クマゼミの次に大きい。抑揚がある鳴き方をする。	この中では 一番小さい 。成虫の はねに黒い模様 がある。 抜け殻に泥 がついている。	成虫のはねは透明。 鳴き声 がわかりやすい。秋まで鳴く。	成虫のはねは透明。 やや暗い林で、早朝や夕方によく鳴く 。	成虫のはねは透明。 鳴き声 がわかりやすい。九州の平地では少ない。	成虫のはねは透明。 照葉樹林 で見られる。合唱する習性を持ち、特に日没前に大合唱する。	成虫のはねは透明。 松林 に多い。九州本土で 春に鳴くセミ はこれだけ。
成虫の大きさ ① 体長 ② 全長	① 36~46 mm ② 56~69 mm	① 34~40 mm ② 55~60 mm	① 20~26 mm ② 32~38	① 26~33 mm ② 41~47 mm	① 28~39 mm ② 41~50 mm	① 29~39 mm ② 55~63 mm	① 23~30 mm ② 29~40 mm	① 22~31 mm ② 31~37 mm
成虫の 標本写真 提供：熊本博物館	 おす めす 雄と雌に大きな違いはない	 おす めす 雄と雌に大きな違いはない	 おす めす 雄と雌に大きな違いはない	 おす 雄 めす 雌の腹部 おす めす 雄と雌の腹部の形が異なる	 おす 雄 めす 雌の腹部 おす めす 雄と雌の腹部の形が異なる	 おす めす 雄と雌に大きな違いはない	 おす 雄 めす 雌の腹部 おす めす 雄と雌の腹部の形が異なる	 めす 雌 おす めす 雄と雌の腹部の形が異なる ※熊本博物館にハルゼミの雄の標本がありません。見つけた方はご提供いただくと助かります。
抜け殻 の写真 ※おおよそ実物大です。 提供：(株) 地域環境計画								



参考文献：セミと仲間の図鑑（トンボ出版,2014）、セミハンドブック（文一総合出版,2019）